

平成27年度 第5回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録（要点筆記）

日 時：平成27年10月20日（火） 午後2時30分から午後3時30分

場 所：江別市民会館 37号室

出席委員：澤井秀座長、中川雅志座長代理、粕谷堅一郎委員、高木玲子委員、龍田昌樹委員、小松芳幸委員、成田将之委員、吉川邦俊委員、向井茂委員、本間雅彦委員、笠井孝一委員（計11名）

欠席委員：福本庸委員（計1名）

オブザーバー：田辺きよみ（石狩振興局地域政策部戦略策定支援担当部長）、中野亮二（江別商工会議所）

事務局：北川企画政策部長、三上次長、白石企画課長、千葉政策推進課長、大槻企画課主査

会議概要

1 開会

2 委員の交替について

3 （1）江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）にかかるパブリックコメントの結果について

【結果の説明】（事務局）

【質問・意見なし】

（2）江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）について

【最終案の説明】（事務局）

【質疑応答】

○龍田委員

過去4回に渡ってご説明があった大枠は変わっていないと認識していますが、過去にも申し上げましたとおり、やはり様々な数値や目標に対する根拠付けについて、パブリックコメントのご意見にもあるように、一般の方また我々商工業を代表するようなところも中々分かりづらいとおそらく誰もが感じているのではないかなと思います。しかしながら、今現在の基準値から見て目標を常に高い水準に置いている点については、少なくとも現状よりはプラスの方向に進むということで評価するべきであると思いますが、今後、個別具体的な議論になった時に最終的に数値目標は何をもってその数値を掲げたのかということからは、ロジックとして必要になると思います。様々な方からご意見をいただいたことも含め、これから市民を巻き込んで様々な施策を進めて

いくとときに、根拠を明確に提示することによって、より総合戦略が実になっていくと思います。特に私は商工業の代表ということで来ていますが、どこまで行っても数字を追い求める業界ですので、結果的にこの数字には至らなかったけれども、こうこうこうだった、ということに対しても、やはり数字の根拠というものは問われてくると思いますので、今後も議論を突き詰めていくことを疎かにせずにやっていただきたいと思います。

総合戦略全体に関しては常に見させていただいているので、特段の意見はございません。

○澤井座長

龍田委員から貴重な意見が示されましたので、事務局は今後ともよろしく願いいたします。

○龍田委員

パブリックコメントの提出者が6人から提出件数は35件のご意見ということで、非常に少ない感じですが、パブリックコメントの募集要項はそもそもどういう形で示されたのでしょうか。

○事務局

今回の総合戦略に限らずこういった市の計画等については市民のご意見を聴くこととなっております。その手続きの要綱が別に定められていますが、今回の総合戦略の案に関しましては、総合戦略の案に対するご意見を伺いたいということで、その基礎資料として人口ビジョンなどを付けております。また、総合戦略の約40ページの本体だけではなかなか読み込めない、という部分もございまして、パブリックコメント自体を募集する応募要領の部分にいつまでにどういった方法で、ということに記載しており、その他に総合戦略の概要、体系を分かりやすく記載して、総合戦略案全体に対して様々なご意見をいただきたいということで募集をしたところであります。一か月の間、電子メール、ファックス或いは持参という形で6人の方から35項目にわたってご意見をいただいたということでございます。

○龍田委員

総合戦略そのものが力強く前に進むためには、パブリックコメント一つとっても、これに対して呼応する、反応する市民の数が増えてくることこそが原動力になってくるのだと思います。パブリックコメントに対して恐らくちょっとしたアレルギー反応、ひよっとすると批判めいた意見ばかり来るのではないかとというところで若干雲に隠したような募集の仕方をされていたんじゃないかなと勘繰りをしてしまうところもありますが、結果、6名という大変少ない数ではございましたけれども、間違ったとらえ

方をせずにまちづくりに対して積極的に関わって行こうとする人達をないがしろにせず、どんどん受け入れる体勢が市側にも求められていると思いますので、内容そのものが大変貴重なご意見だなと感じながら読ませていただいておりますので、このご意見を我々の意見と同様に取り扱いをしていただいて、反映していただきたいと思いますと思いました。

○澤井委員長

龍田委員から貴重なご意見をいただきました。事務局はそのあたり今後もよろしくお願いします。

○高木委員

パブリックコメントを拝見して、やはり具体的施策、やっていくこと、事業が皆さんに中々理解されていないのかなと感じました。というのは子育てというところに関して、基本施策の中に項目としてたくさん入っているものの、それが自分たちのものとして一致しないがために要望として出てくるのかなと少し感じました。そこはちゃんと江別市側も積極的に知らせていくという視点に立たないと、いつもずれが生じるのかなと思います。例えば学童保育について、目標数値は高くなってきているし、私は、そこにはきちっとした考え方があると捉えていたんですけど、そこがパブリックコメント結果と一致していなくて、まだ学童保育が不足しているとか子育てに関しての不満がちらちらと出ている、ということもあります。

そういうところも捉えてこの計画が出来ていますよというところについてアピールしていかなければならないのかな、とちょっと感じました。

○澤井委員長

高木委員からも大変貴重なご意見がございましたので、事務局はよろしく願いいたします。

他に質疑、ご意見等ございませんので、議事（１）につきまして、委員の皆さまに確認させていただきたいと思います。この最終案は、本日の協議結果を踏まえて江別市庁内に設置されている「江別市まち・ひと・しごと創生推進本部会議において最終的な協議をおこなって、江別市の総合戦略として決定される予定となっております。この総合戦略の最終案について、提案のとおり確認してよろしいでしょうか。

○委員（了）

○澤井委員長

それでは委員の皆さま方に確認していただいたということで、どうもありがとう

ございました。

4 その他

○事務局

本日の協議結果を踏まえて来週、庁内の推進本部会議で決定された総合戦略、人口ビジョンについて改めて印刷の上各委員にお配りさせていただきます。

また、次年度以降、戦略の検証作業にあたり、この有識者会議を開催する時期になりましたら改めてご案内を差し上げたいと考えておりますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

○澤井委員長

皆様方のご協力によりここまで来ることができたと思っております。これからも毎年度検証の会議があるということでございますので、今後とも、是非よろしくお願いいたします。

○中川委員

議論の中では、行政に対して非常に厳しいご意見もあったのかなと思っておりますけれども、行政としてもそれも踏まえて今回の計画を実現できるよう取り組んでいただきたいと思っておりますし、また、私たちもこの計画の内容の審査にかかわった訳ですから、今後、個人ですとか会社、地域、団体、いろいろあると思っておりますけれども、その中でできることを一つずつやっていかなければならないのかなと改めて思っている次第です。いずれにしましても今回皆さんに熱心に取り組んでいただいたおかげで今回まとまったものと思っております。

5 市長挨拶

6 閉会